

人口

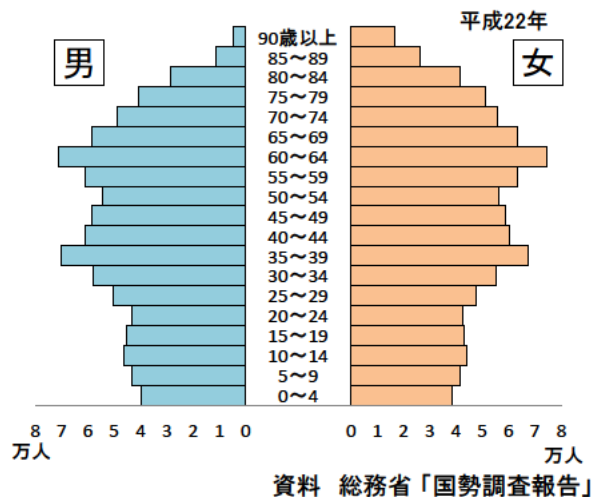
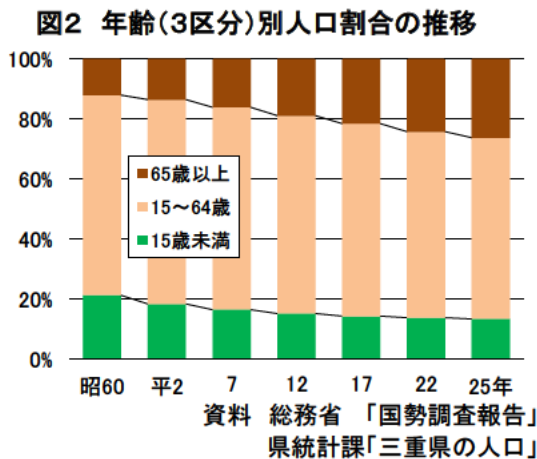
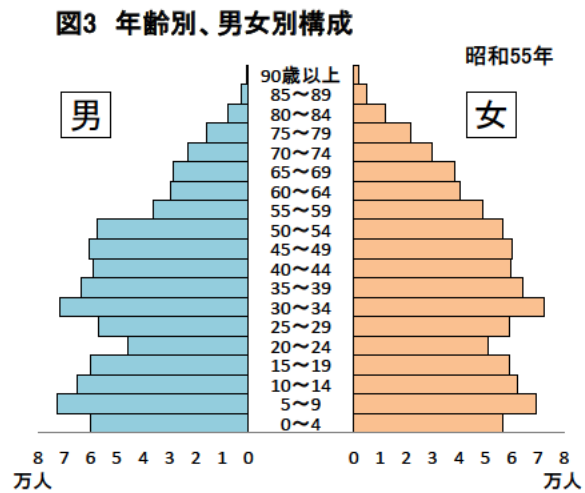
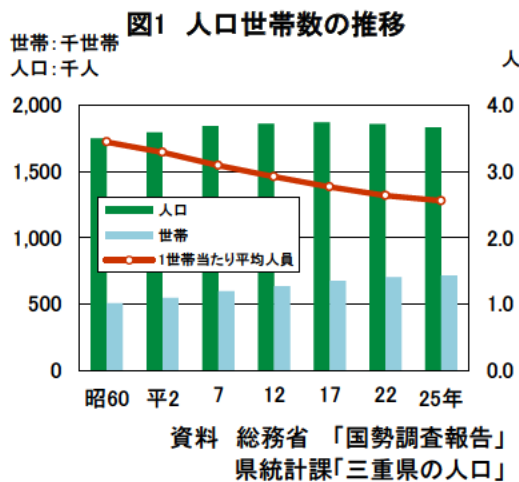
平成25年推計人口

平成25年10月1日現在の総人口は182万9,063人（男89万311人 女93万8,752人）で、前年に比べ9,548人（0.52%）減少しました。

また、年齢3区分別にみると、年少人口（15歳未満）が総人口に占める割合は13.3%、生産年齢人口（15～64歳）割合は59.9%、老年人口（65歳以上）割合は26.1%となっています。平成22年国勢調査結果と比較すると、年少人口割合が0.4ポイント、生産年齢人口割合が1.7ポイント低下しました。一方老年人口割合は2.0ポイント上昇しました。

平成22年国勢調査結果

平成22年10月1日現在の総人口は185万4,724人（男90万3,398人、女95万1,326人）で前回調査の平成17年に比べ12,239人（0.7%）減少しました。国勢調査結果による三重県の人口の推移を見ると、昭和30年～35年にわずかに減少したのを除くと、大正9年以降増加を続けていましたが、今回減少に転じました。総世帯数は70万4,607世帯で、平成17年に比べ2万9,148世帯（4.3%）増加しました。



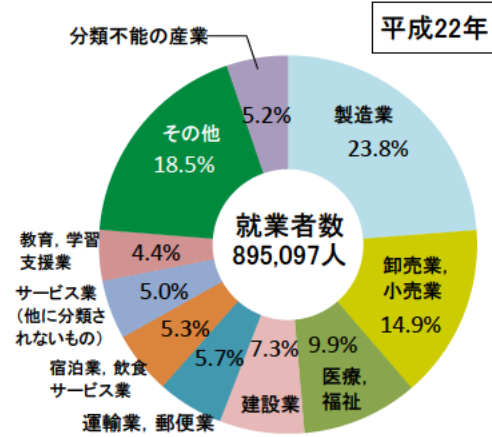
産業別就業者数

平成22年10月1日現在（国勢調査）の15歳以上の就業者は89万5,097人で、前回調査の平成17年に比べ2万7,525人減少しました。

産業大分類別にみると、最も多いのは製造業の21万2,856人（構成比23.8%）、次いで卸売業、小売業の13万3,343人（同14.9%）、医療、福祉の8万8,904人（同9.9%）と続いています。

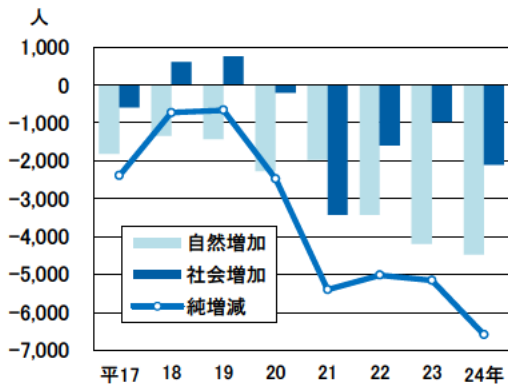
また、産業3部門別にみると、第1次産業が3万3,016人（構成比3.7%）、第2次産業が27万8,346人（同31.1%）、第3次産業が53万6,802人（同60.0%）となっています。

図4 産業別就業者数



資料 総務省「国勢調査報告」

図5 人口動態の推移



資料 総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」
厚生労働省「人口動態統計」

人口動態

平成24年1年間の人口動態は、出生1万4,729人、死亡1万9,210人、他都道府県からの転入2万7,750人、他都道府県への転出2万9,859人となりました。

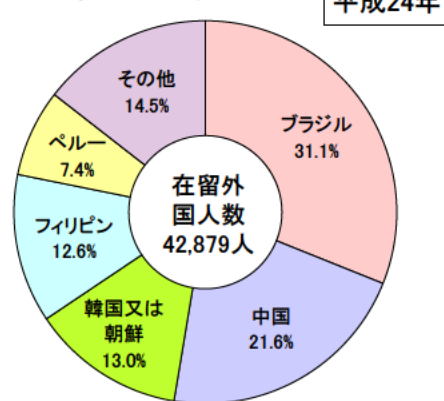
人口動態の推移を自然増加（出生－死亡）と社会増加（県外からの転入－県外への転出）で見ると、自然増加数は平成17年から24年まで8年連続減少となりました。社会増加数は平成18、19年は転入超過、20年から24年までは転出超過となりました。

純増減数（自然増加数＋社会増加数）をみると、平成17年から減少傾向が続いており、平成21年以降は大きく減少しています。

在留外国人数

平成24年12月31日現在の在留外国人数は、4万2,879人でした。国別の内訳をみると、ブラジルが1万3,324人（外国人構成比31.1%）、中国が9,241人（同21.6%）、韓国又は朝鮮が5,564人（同13.0%）、フィリピンが5,388人（同12.6%）、ペルーが3,159人（同7.4%）などとなっています。

図6 在留外国人数



資料 法務省「在留外国人統計」